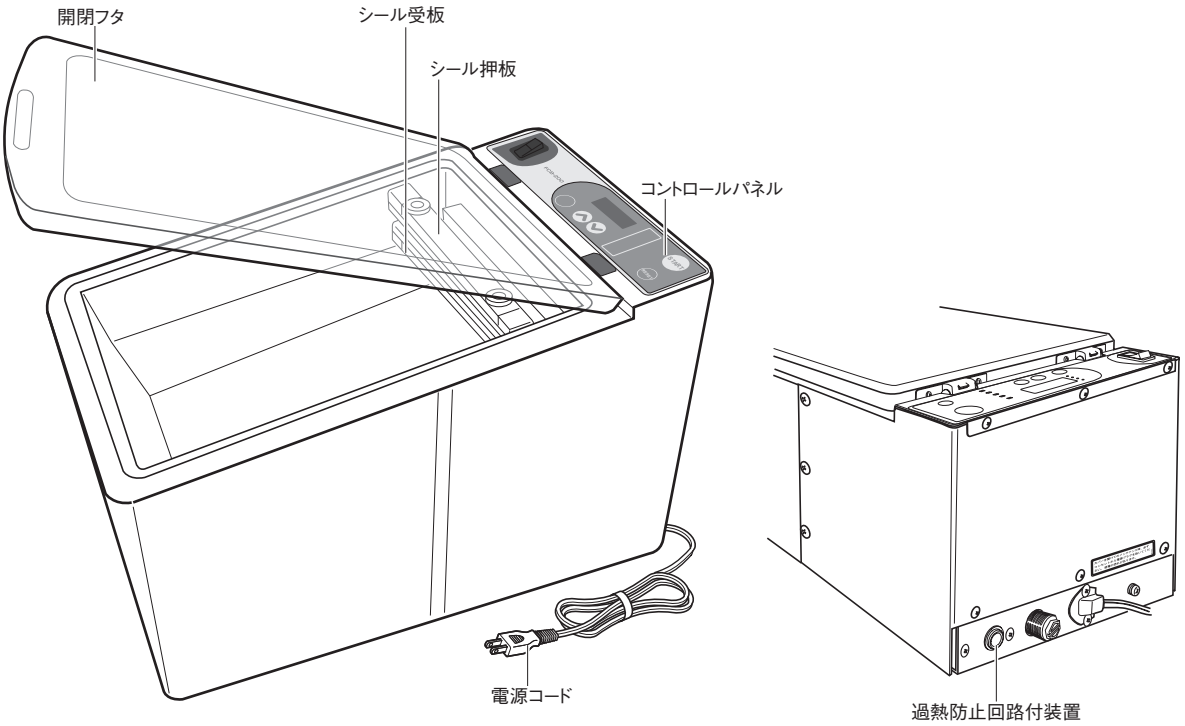
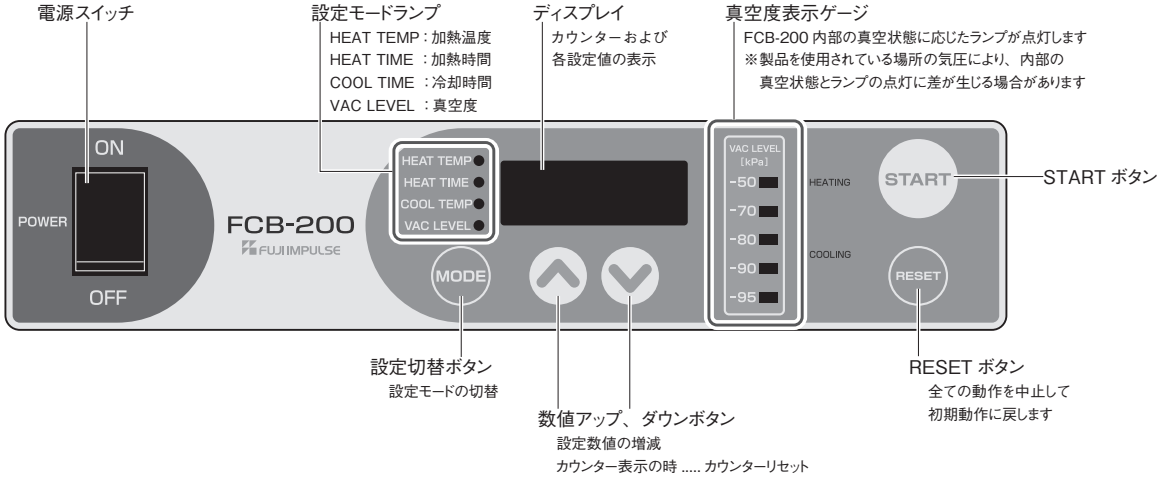
7　各部の名称とはたらき



コントロールパネル



設定値を増減する⌃、⌄ボタンは1回押すと数値が増減します。1 回押すごとの増減値は、各モードによって異なりますので「8-4　コントロールパネルでシール条件を設定」（→ P.14）>>「各モードの設定手順例」を参照してください。

また、⌃、⌄ボタンを押し続けると数値は連続的に増減します。

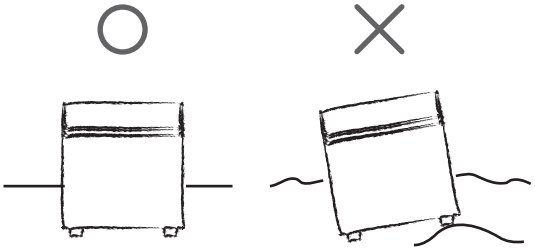
大きく数値を変えたいときは1回ずつ押すのではなく、ボタンを押し続ける方が早く設定できます。

8　正しい使い方

製品を使用される時は以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

8-1　製品の設置

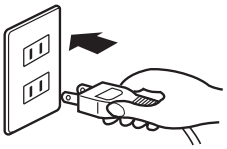
FCB-200 は卓上型シーラーです。水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。



8-2　電源コードの接続

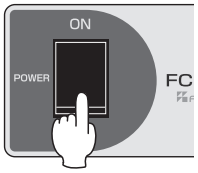
製品背面の電源コードの差し込みプラグを電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

⚠ 警告　規定の容量に合わない場合、火災などが発生する危険性があります。



8-3　電源スイッチ ON

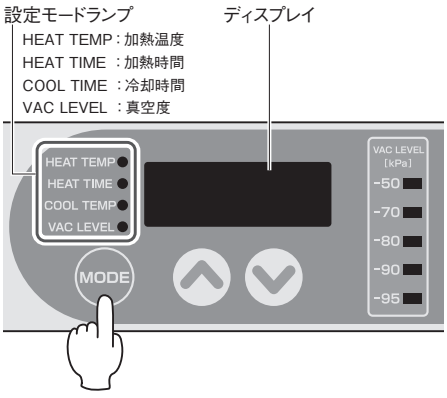
コントロールパネルの電源スイッチを ON 状態にしてください。コントロールパネルのディスプレイが点灯し、カウンター値を表示します。



8-4　コントロールパネルでシール条件を設定

コントロールパネルで加熱温度・加熱時間・冷却温度・真空度を設定します。
袋（フィルム）の材質、厚さなどにより設定値は変わりますので、異なる袋（フィルム）を使用される時はその都度設定してください。
設定切替ボタンを押すと
カウンター数→加熱温度→加熱時間→冷却温度→真空度
の順にディスプレイに呼び出せます。
呼び出されたモードはランプが点灯します。
どのモードランプも点灯していない時はカウンターモードになっている時です。

MEMO　カウンター数を“0000”にしたい場合は、設定切替ボタンを押して、設定モードランプが点灯していない状態で▲、▼キーを押してください。



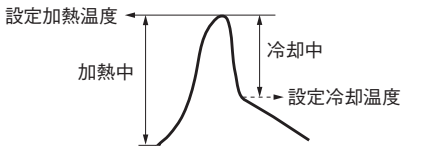
□ 加熱温度の設定

・「加熱温度」のモードにして▲、▼キーで数値を加減して設定します。[60 ～ 200℃の範囲]
・使用される包装フィルム（袋）の材質により適切な溶融温度は異なります。
・シールができる最低の温度に設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

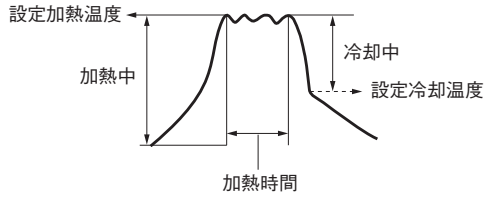
□ 加熱時間の設定

・「加熱時間」のモードにして▲、▼キーで数値を加減して設定します。[0.0 ～ 3.0 秒の範囲]
・温度制御における加熱時間とは設定された温度を維持させる時間のことで、通常は、加熱時間を設定しなくても（加熱時間を0.0秒にしても）シールはできます。包装フィルム（袋）に厚みがあり、加熱温度を上げてもシールができない場合やシールができてもフィルムがダメージを受けている場合のみ加熱時間を設定すると効果が期待できます。

加熱時間を設定しない場合の加熱温度測定グラフの軌跡



加熱時間を設定した場合の加熱温度測定グラフの軌跡



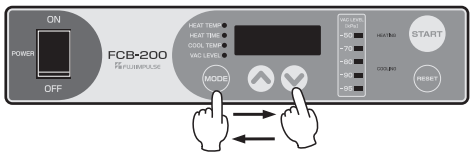
□ 冷却温度の設定

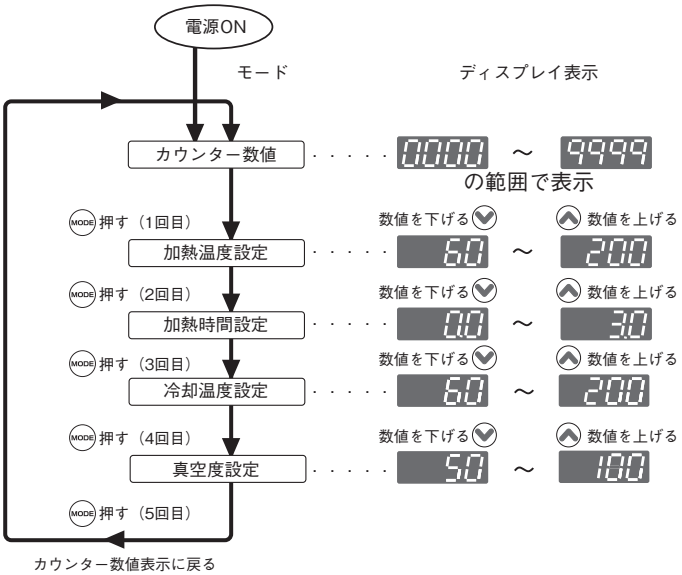
・「冷却温度」のモードにして▲、▼キーで数値を加減して設定します。[60 ～ 200℃（加熱設定温度）の範囲]

□ 真空度の設定

・「真空度」のモードにして、▲、▼キーで数値を加減して設定します。[−50 ～ −100kPa の範囲]

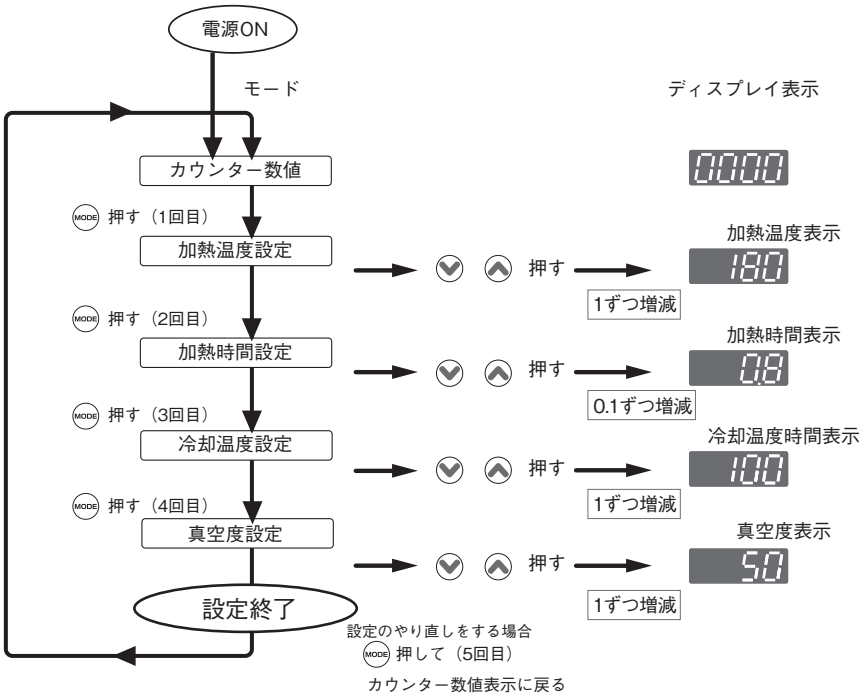
各モードの設定手順





各モードの設定手順例

設定数値例 : 加熱温度 180℃　加熱時間 0.8 秒　冷却温度 100℃　真空度 -50kPa



8-5　袋をセットする

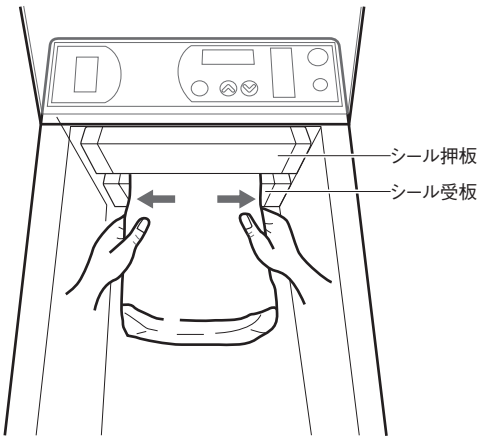
開閉フタを開けて、内容物の入った袋（フィルム）の袋端をシール受板、シール押板の隙間に入れてください。

⚠ 注意　焼きたて、煮たての熱いものは入れないでください。

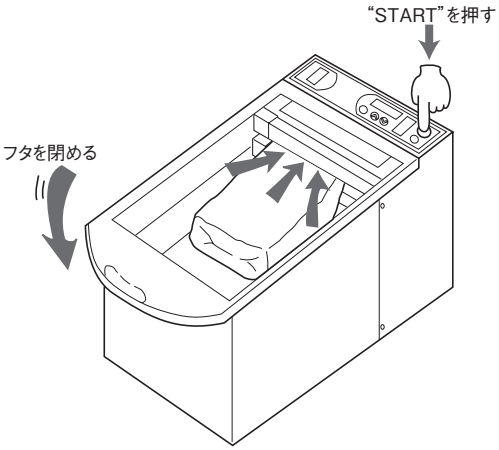
⚠ 注意　袋をセットする時、シール位置を確認しながら、袋の両端を引っ張り、シワができないようにしてください。

⚠ 注意　シール不良の原因となりますので、袋に内容物を入れる時、シールされようとする袋の開口部に水分や油などが付着しないようにしてください。

MEMO　袋がセットしにくい時は、附属品のガイドプレートとガイドベースをご利用ください。



8-6　開閉フタを閉めて START ボタンを押す



以下の 1 ～ 5 は自動運転で行われます。

1　真空ポンプが作動し、チャンバー内部の吸気を開始します。

↓

2　チャンバー内部の真空度を表示します。（目安）

↓

3　設定真空度になると、真空ポンプが停止します。

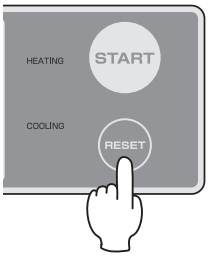
↓

4　シールを開始（加熱・冷却）します。

↓

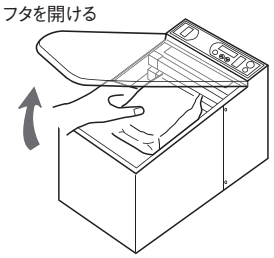
5　“ピッー”と 4 回鳴ると、シール完了です。

注！　作業途中で停止したい場合は、“RESET”ボタンを押してください。



8-7　シールのできあがり

開閉フタを開けて袋を取り出してください。
うまくシールができていない場合は、再度設定をやり直してください。

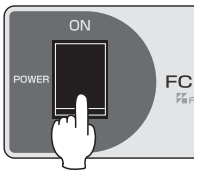


8-8　作業終了のしかた

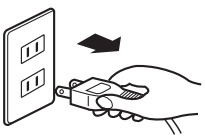
1　コントロールパネルの電源スイッチを OFF にすると、自動的に真空ポンプの空運転が、約 3 分間行われ、自動で終了します。

⚠ 注意　空運転の途中でコンセントから電源プラグを抜かないでください。

⚠ 注意　1 日の作業終了後は、必ず空運転を行ってください。



2　真空ポンプの空運転終了後、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。



長時間使用しない場合は、コンセントから抜いてください
電源コンセントを抜くときは、電源プラグを手で持って抜いてください。